

「ヴァルデ」Varde というのは ノルウェー語で「石積み」の標識のことです 日本では「ケルン」と呼ばれることが多いです 冬は風雪吹き荒れ 夏でも強風の日が多い北極圏のトレールでは 多くのヴァルデが造られています ノールカップ(北岬)よりも更に北に位置する「クニーブシェ ロッデン」Knivskjellodden へのトレールでも ヴァルデが唯一の道しるべでした それぞれのヴァルデには赤い+のマークがつけられ 起伏に乏しい荒れ野でも 一度も迷うことはありませんでした



これが完成した絵です



1、空の雲は 最後に白のパステルで描き その後「ブルー・ブラック」で影をつけます



2、遠くの丘は 薄い青紫色で「面的に」描きま



3、「荒れ野」は「サブ・グリーン」に黄土色を混ぜた色を基調にし 何度か色を重ねました



4、ヴァルデ(ケルン)には左側から光が射しています 左側を明るくします 石と石の隙間は かなり暗くします



5、ヴァルデの右側は暗くします ヴァルデそのものの影も 地面に描きま



6、地面のコットングラス(ワタスゲの仲間)は 白の修正液で描きました